海上自衛隊八戸サイバー防護分遣隊



八戸サイバー防護分遣隊長あいさつ＆部隊ロゴマークの紹介

八戸サイバー防護分遣隊のホームページをご覧いただき、ありがとうございます、分遣隊長の小池です。

八戸サイバー防護分遣隊は、令和８年３月に新編された海上自衛隊サイバー防護群の中に編成される大湊サイバー防護隊に属する部隊です。
勤務は、シフト勤務態勢を編成し、２４時間３６５日切れ目なく運用しております。

我々の部隊は、艦艇・航空部隊と異なり、あまりメディアなどで紹介されることがない部隊ですが、通信・ネットワークの運用を維持・管理するとともに、新たな戦いの領域として認知されているサイバー空間の防護を主体とする重要な役割を担っております。
その他、大規模震災等の不測事態が発生した場合には、小型の衛星通信器材等を用いて、災害対策本部等において、海自部隊との通信を確立し、部隊の情報共有が円滑・迅速に実施できるように支援しています。

ネットワークやサイバーセキュリティの分野は日々進化しており、専門的知識を身に付けるのが中々難しいところですが、海自内の術科学校で関連する教育を受けたり、自助努力によりＩＴ関連資格を取得したり、必要な知識を身に付け、国防の一端を担っております。

最後に、八戸サイバー防護分遣隊の任務を理解し隊員を支えていただいている、ご家族の皆さまと、日々応援してくださる皆さまに感謝いたしますとともに、引き続き変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

○八戸サイバー防護分遣隊ロゴマーク



1　ロゴマークの意味
大サ防各部隊を意味する５枚の大きな翼は、古来より通信の象徴とされていた鳥類を意味するとともに、「力強く未来へ飛躍する」というイメージから、生まれ変わる部隊の門出と成長を象徴する。背景は、大湊の「大」を模っており、中心に据える渦状の縄文文様と、その周りを取り囲む線は、北海道および北東北の地域性、宇宙への関心や人々のつながりといった意味を内包している。また、翼と縄文文様を組み合わせた独自のモチーフとして「縄文鳥」を考案した。縄文鳥には「雪国」と「誠実性」を表す白、背景には「伝統」と「宇宙・サイバー空間」を表す藍をそれぞれ配色することで、縄文鳥が新領域を飛び回り、部隊同士が密接に連携しながら、今後変革する多種多様な業務に挑戦する様を表現する。

2　キャッチフレーズの意味
Do Your Duty　本分を尽くす
現業に加えた新領域における業務は、我々サイバー防護隊の本分であり、誠実に取り組む姿勢を表す。



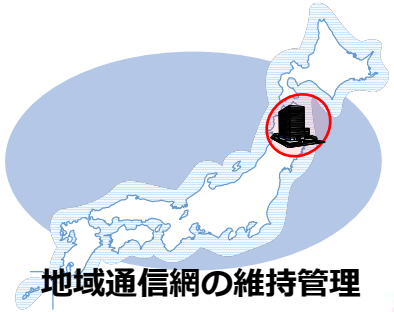


カイジョウジエイ鯛くん

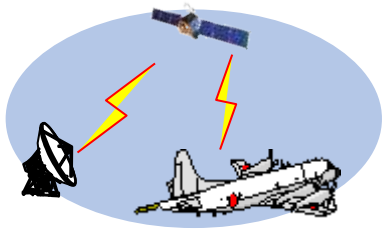
八戸サイバー防護分遣隊の任務等

○任　務

・八戸航空基地内の地域通信網の維持管理
・担当する通信系の構築
・八戸航空基地に所在する部隊等が行う通信の支援
・サイバー攻撃等の未然防止及び対処



地域通信網の維持管理

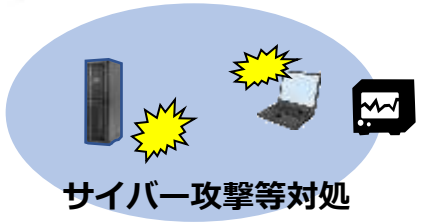


通信系の構築





基地通信支援



サイバー攻撃等対処

八戸地区に所在する海上自衛隊各部隊の通信に不具合があった場合に、その維持・管理を任務とするほか、マイクロ回線の維持整備を行っています。また、八戸地区に大規模な災害が発生した場合に、市役所などの施設と海自の司令部を繋ぐ通信を確保することも任務としています。

○八戸航空基地　オータムフェスタ



御朱印、カイジずかん（カード）の配布







○八戸基地隊　開隊記念行事







格納庫内の放送設備

全般を支援

